

中・県西地域

全日制普通科・定時制単位制普通科併置校

（高浜高校・平塚商業高校定時制）

設置計画

平成31年3月

神奈川県教育委員会

平塚農業高等学校と平塚商業高等学校の再編・統合に伴い、平塚商業高等学校定時制課程を、より通学の利便性の高い高浜高等学校に移行する。移行に際しては、これまでの平塚商業高等学校定時制課程の取組みを踏まえつつ、新たな定時制課程の学校づくりを行う。

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 高浜高等学校 平塚商業高等学校（定時制）
- (2) 位置 高浜高等学校敷地（平塚市高浜台8-1）
- (3) 実施年度 平成32年度

2 設置の目的

- 定時制課程で学ぶ多様な生徒の特性を踏まえ、通学の利便性を高め、柔軟な学びを可能とするため、単位制普通科の定時制課程を設置し、確かな学力と社会生活に必要な実践力をもった人材の育成を図る。

3 基本的コンセプト

- 単位制による定時制普通科の県立高校として教育を展開する。
- 「社会への接続」に向けた教育活動の展開
一人ひとりの勤労観・職業観、社会を生き抜く諸能力を育むために、地域社会との連携・交流を図りつつ、「社会への接続」に向けた教育活動の充実を図る。生涯にわたって学習する態度の育成と基礎学力の定着を図る教育課程を提供する。
- 単位制による柔軟な学びの場の提供
生徒の多様な学習活動のあり方に応じ、学校外における学修や課程間併修なども取り入れた幅広い学習の機会を提供する。
また、定時制として4年間の学びを基本とするが、三修制についても工夫し、学期ごとの半期認定も取り入れて、3年間及び3年半での卒業も可能にする。
- 特別活動の活性化・ガイダンス機能の充実
より豊かな人間関係づくりを進める観点から、単位制の特性をいかし、異年次集団による活動などの工夫を図るとともに、特色ある学校行事の活性化を図る。

○ 定時制課程教室棟の活用

施設の利用については、定時制課程の教室棟を用意し、HR教室を優先的に活用して教育活動の充実を図るとともに、全日制の多様な施設も活用してより効率的な教育活動を展開する。

4 設置形態

- (1) 課程 単位制による定時制の課程
- (2) 学科 普通科
- (3) 学校規模 定時制の課程 280名（各年次70名 2学級規模程度）
- (4) 修業年限 3年以上(他校での在籍期間を加えることができる)
- (5) 学期 2学期制（全日制は3学期制）
- (6) 履修形態 共通履修科目及び選択科目による履修
- (7) 授業展開 50分を基本とし、課程間併修等においては、弾力的な授業時間を設定

<日課表> (予定)

	(月)～(金)
0校時	16:15～17:05
夕食休憩	17:05～17:20
SHR	17:20～17:25
1校時	17:25～18:15
2校時	18:20～19:10
3校時	19:15～20:05
4校時	20:10～21:00

※5校時相当の時間に定通併修科目を設置。

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集（中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者）
- (2) 選抜の区分 共通選抜及び定通分割選抜
- (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

- (1) 基本的方針
 - 年次進行型単位制の履修形態とする。

高等学校在籍3年以上で、必履修科目を履修し、高等学校学習指導要領に基づき、学校において定めた単位を修得することで卒業とする。

(2) 教育展開の方針

- 実践的、体験的な内容の学習を取り入れ、学習への意欲を高めることができるよう、特色ある教育内容を提供し、豊かな人間性・社会性を育てる。
- 義務教育との接続を図る学び直しの科目や外国につながる生徒を対象とした日本語支援科目を設定して、基礎学力の定着を確実なものにする。
- 自己表現能力や情報活用能力を身に付け、社会と連携・協働しながら自己のあり方生き方を考えることができるよう幅広い教育内容を提供し、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む。
- 定時制課程教室棟の各教室にICT環境を整備し、ICTを活用した授業をはじめさまざまな手法を用いた教育を展開する。
- 半期認定や、学校外での学習機会の活用などを通じ、教育課程の弾力化を推進する。
- 進路変更などの理由による転入学や再入学制度の活用による中途退学者の積極的な受入れを推進する。

(3) 編成の方針

- 個性に応じた教育を展開するため、一人ひとりの学習ニーズに応じることができる教育課程を編成し、共通履修科目及び選択科目で構成する。
- 義務教育と高等学校教育との接続を円滑に図るための学び直しの科目、並びに高等学校学習指導要領に示されている必履修科目及びその他の学校指定の履修科目とで構成される共通履修科目とを、基礎から応用へと体系的に学習できるように設定する。
- 生徒の状況に合わせて、学び直しを含めじっくり学びながら、学習内容の確実な定着を図る「スタンダードコース」と、学習内容を先取りしながら、基礎・基本から応用まで幅広く学ぶ「プログレスコース」の2つの教育課程を併置する。
- 他校の通信制課程との課程間併修（いわゆる「定通併修制度」）による単位認定を行うとともに、県立高校生学習活動コンソーシアムの活用など、学校間等

の連携に基づく学修の成果の単位認定を行う。また、全日制課程との連携による全日制課程の長期集中講座も活用する。

- 選択科目「職業一般」の付帯としての実務代替、及び高等学校卒業程度認定試験科目合格による単位認定を行う。
- 技能審査の成果、ボランティア活動・就業体験活動等の学校外での活動に基づく学修成果による単位認定を行う。

(4) 教育課程表 (予定)

S : スタンダードコース P : プログレスコース

単位数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1 年次	S	*基礎国語 ③		現代 社会 ②	*基礎数学③/ *キャリアアップA ③	科学と 人間 生活 ②	保健 ①	体育 ②	コミュニケーション英語基礎③ / *キャリアアップB ③ コミュニケーション英語 I ③	社会と 情報 ②	総合的な 探究の 時間 ①	L H R									
	P	国語総合 ③											数学 I ③								
2 年次	S	国語総合 ③		日本史 A ②	数学 I ③	生物 基礎 ②	保健 ①	体育 ②	コミュニケーション英語 I ③	家庭基礎 ②	総合的な 探究の 時間 ①	L H R									
	P	国語表現 ③											数学 A ③	英語表現 I ③							
3 年次	S	国語表現 ③		世界史 A ②	数学 A ③	化学基礎② / *キャリア アップC②	体育 ③	英語表現 I ③	音楽 I ② / 美術 I ②	総合的な 探究の 時間 ①	L H R										
	P	古典 A ③										数学 II ③	英語表現 II ③								
4 年次	S / P	数学 B ③ / 現代文 A ③	選択 日本史 B④/ 世界史 B④/ 政治・経済②+倫理②/ 物理④/ 化学④/ 生物④			選択 数学 III④/ *国語探究 α・β② +*社会探究 α・β②/ *数学探究 α・β② +*理科探究 α・β②/ 体育 ②			英語会話 ③	選択 音楽 II②/ 美術 II②/ フードデザイ ン②/ *職業一般① (半期)		L H R									
	0 校 時 科 目	学び直しの科目 (1・2年次) : 基礎日本語②/社会科入門②/高校数学への扉②/自然科学史②/基礎英語入門② スキルアップ科目 (3・4年次) : 地理A②/*数学活用②/物理基礎②/*異文化理解②																			
定通併修	現代文 B④/地理 B④/地学基礎②/英語会話②																				
日本語 支援	外国につながる生徒対象 *キャリアアップA③/*キャリアアップB③/*キャリアアップC②/ *日本語の世界A①/*日本語の世界B①/*日本語の世界C①/*日本語の世界D①																				
学校外 活動	技能審査/就業体験活動/校外講座/ボランティア活動/スポーツ・文化活動																				
全定併修	長期集中講座																				

*は学校設定科目 (卒業単位は 20 単位以下)。
定通併修科目は最大 20 単位まで。学校外活動は最大 36 単位まで。
(○囲いの数字は単位数)

※ 教育課程表は予定であり、変更することがある。

定時制単位制普通科による柔軟な学びの特色をいかした科目について
生徒の多様な学習活動のあり方に応じ、一人ひとりの学習ニーズに応じた弾力的な教育課程を編成し、柔軟な学びの場を提供するため、以下の科目等を設置する。

<教育課程の弾力化の特色を生かした半期認定科目>

国語探究 $\alpha \cdot \beta$	… $\alpha \cdot \beta$ を付した各科目は、3年半での卒業を見据えた半期認定を前提とした科目であり、3年次までの各教科において身に付けた知識・技能を基に、探究活動に重点を置き、各教科における問題発見・解決能力の向上をめざす。
社会探究 $\alpha \cdot \beta$	
数学探究 $\alpha \cdot \beta$	
理科探究 $\alpha \cdot \beta$	

<義務教育との接続を図る学び直しの選択科目>

基礎日本語	… 義務教育の学習内容を総復習するとともに、同時に進行する1・2年次の授業を確実に理解できるよう、生徒自身が必要とする科目を選択し、個々の状況に対応した柔軟な指導を通して、各教科における基礎的な資質・能力の確実な定着を図る。
社会科入門	
高校数学への扉	
自然科学史	
基礎英語入門	

<外国につながる生徒を対象とした日本語支援科目>

キャリアアップA～C	… 日本語支援指導の必要な生徒に対し、1年次の数学および英語の時間帯にキャリアアップA・Bを、また、3年次選択理科の時間帯にキャリアアップCを設置し、教科学習の効果向上に向けた、基礎的な日本語の資質・能力の確実な定着を図る。
日本語の世界A～D	

また、長期休業中にも単位認定を伴う集中講座「日本語の世界A～D」を開講し、キャリアアップとあわせて、日本語検定に対応する語学力の修得をめざす。

(5) 学習指導の工夫

- 少人数学習を充実させ、各自の学習状況や学習内容に基づいた個別の指導が実施できるよう配慮する。
- 体験的、実習的な学習展開を図り、社会性や表現活動による創造性、豊かな感性を育むことができるよう工夫を図る。

- 全日制課程や地域との連携を視野に入れ学習指導の工夫を図りつつ、一人ひとりの興味・関心や特性に応じた展開を図る。
- 総合的な探究の時間においては、設定した課題について、知識や技能の深化、総合化を図る学習活動が展開できるよう指導する。
- 学習ニーズに応じた選択科目を設置し、普通教科に関する標準的な科目のほか、生徒の特性に応じた科目や進路に関わる科目を設定する。
- 長期集中講座等の全日制・定時制課程相互の課程間併修により、学習機会の拡大を図る。

(6) 生徒指導等の工夫

- 入学年度ごとのホームルーム編成を行うとともに、きめ細かな生徒指導ができるよう工夫する。
- さまざまな個性を相互に尊重し、自己の確立をめざすため、異年次集団による学習活動や特別活動、全日制課程との連携による特別活動を実施するなどの工夫を行う。
- 一人ひとりの生徒の学習計画や生活面での指導の適切化を図るため、個別の科目選択指導や進路指導をきめ細かく行うとともに、カウンセリングなどの相談体制を充実する。

(7) 進路指導の工夫

- 生徒が自己のあり方生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育を推進するとともに、生徒一人ひとりの進路目標の実現を図るため、計画的、組織的な進路指導を行う。
- 進学に向けたガイダンス機能を充実させ、全日制との連携や県立高校生学習活動コンソーシアムを活用する等、進学に向けた支援体制を確立する。

(8) 学校経営

- 学校教育計画に基づき、学校評価や第三者評価の取組みをいかすなどして、一層充実した自律的・組織的な学校経営に取り組む。
- 定時制課程で生徒が安心して学べる環境を地域と一体になって整えるとともに、地域の教育資源をいかした豊かな教育活動を実現する。

7 施設・設備の整備

- 定時制課程における単位制普通科の教育の展開に必要な定時制課程教室棟を含めた施設・設備の整備を行う。
- 定時制課程教室棟の各教室に I C T機器を整備し、I C T教育の環境を整える。

8 その他

- 定時制課程における単位制普通科の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画室高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通 33 〒231-8509 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線 8255・8256